

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Oct.2021



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

世界的に逼迫している半導体に拍車をかけ、先月より中国国内において小雨による水力発電量の大幅減少等、電力不足による供給調整を理由に、週1から2日の操業停止を要求される企業が相次いでいる。また、石炭等の火力発電において脱炭素による火力発電量を増加させることができない事情もある。この半導体入手困難な状況下、部品入手後即投入等で対応している企業も多い。しかし、前夜に明日停電する旨の通知が届いている状況である。最低でも生産計画調整が可能な1週間前には通知が欲しいところだ。また来年、冬季五輪が中国で開催されるが、既に近隣の省では冬季五輪前後の操業停止が既に通知されている。2008年の夏季五輪で透き通る程の晴天であったが、違和感を感じたのは私だけだろうか。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

日本ではコロナ感染者が減少しています。他方では英国では1日5万人、ロシアでも約4万人等感染者が増えている国もあります。感染者数の推移はワクチン接種者数と反比例しているとも言えず、増加も減少も原因がつかめない状態です。とにかく私たちにできることは日々の感染予防しかないということで、今一度気を引き締めてまいりたいと思います。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

.Go vegetarian is one of the things is good for the environment. Eating less meat is proven to be environmentally friendly. Raising animals require a lot of resources compared to vegetables. But I know it's hard for people to imagine a vegetarian diet. We can start slowly by going vegetarian once or twice a week. It's easy to do, and once we get the hang of it, this diet can also improve our health. (C.Y.)

CSI

普段は特に季節を感じにくいセブですが、クリスマスが近づいてくると変化を感じます。10月中旬になりクリスマスの電飾が付き始めました。青と白色のLEDを使用し、トナカイやサンタに形取った電飾が多いです。(K.S.)

SANSHINWest

昨今、台風の風水害が大きくなっています。家の内外の備え、非常持ち出し品の準備、停電時の備えなど、発起してしばらく対応していても自然消滅的に対応しなくなる人がほとんどだと聞きます。私もその一人です。備えを集中化したり先延ばしにせず、日常化することの大切さを最近よく考えます。出来る事から少しずつ、無理なく常態化していこうと思います。(N.K.)

SHINKOWA

2022年、冬季オリンピックが行われる北京に聖火が到着しました。北京では聖火リレーを3日間行う予定のようです。冬季のオリンピックは東京オリンピックの時より、あまり報道がされていませんが出場選手には頑張ってくださいたいです。また、コロナに関しても数は減ってきていると思いますが、十分に注意が必要だと思います。特に冬になるとインフルエンザも流行しますので気をつけていきます。(H.K)

SC2

MTSが販売している農薬不使用のお野菜畑に事件が起きました。蝗害(こうがい)で白菜などが食い荒らされ全滅。次の種を蒔いても収穫は3月です。無農薬栽培ゆえの事件ですが、バッタの異常繁殖も一因です。無農薬で自然と共存をはかっている農家さんだけが頑張っても、大多数の人間が汚している環境がこうした異常繁殖を招いていないのか。考えさせられます。(M.I.)

ESG Report (品質)

今月のTOPICS

「がんばりすぎている人に」

世の中では多少なりとも、「逃げる＝悪」と考えられているのではないのでしょうか？ だからこそ、「逃げる」という選択をする際には勇気が必要となるのかもしれませんが。もっと世の中が“逃げる”ことに寛容になっていくべきではないのでしょうか。

■.負の輪から抜けられない人

負の輪から抜けられない人は、「根がすごく真面目」で、「自分に自信がない」タイプが多いということ。真面目すぎるあまり、言われた事すべてに全力投球してしまうとか、疑問を持たずに上司のいうことに従ってしまうとか。もちろん、それが大切なときもあるでしょう。とはいえ**真面目でありすぎると、ときに「思考停止している」ととられてしまう可能性もある**のではないかということです。

■.自信≠過信

「**自分に自信を持つ**」のと「**自分を過信する**」のとは別です。自分を過信していると、周囲が見えなくなってしまうたり、現状の力量ではこなせるはずのない仕事を引き受けてしまったりして、最終的に周囲に迷惑をかけてしまうというようなことになりがちです。

■.つらくない「努力」の見つけ方

、「**がんばらなきゃ**」と思った時点で、その努力は「**つらい**」努力になってしまうと考えられます。そのため「**努力なんかしないで、好きなことだけするぞ!**」と思い、毎日仕事終わりに好きな事だけしてみる。それが知らず知らずのうちに努力につながっていきます。自分が本当に好きなことを探すのは、人生のひとつの課題です。

日々の仕事にストレスを感じながらも“逃げる”ことに罪悪感を覚えているという方にとって、なんらかのきっかけになるかもしれません。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

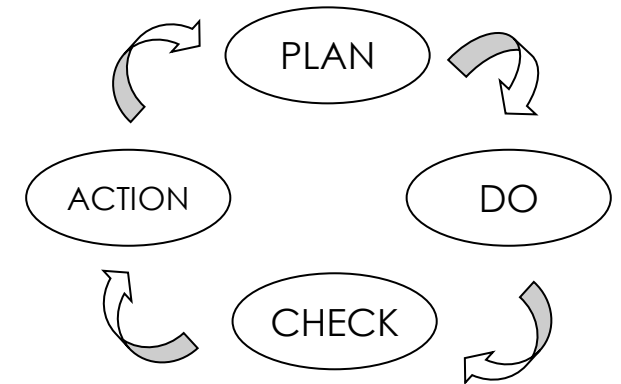
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



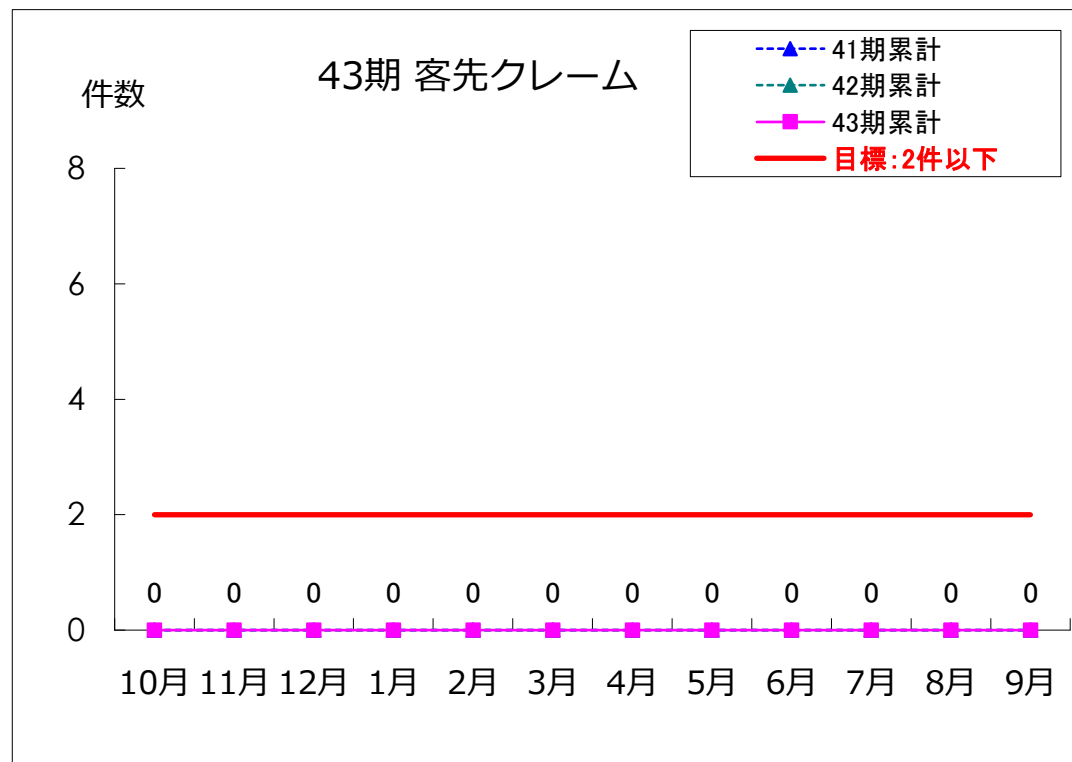
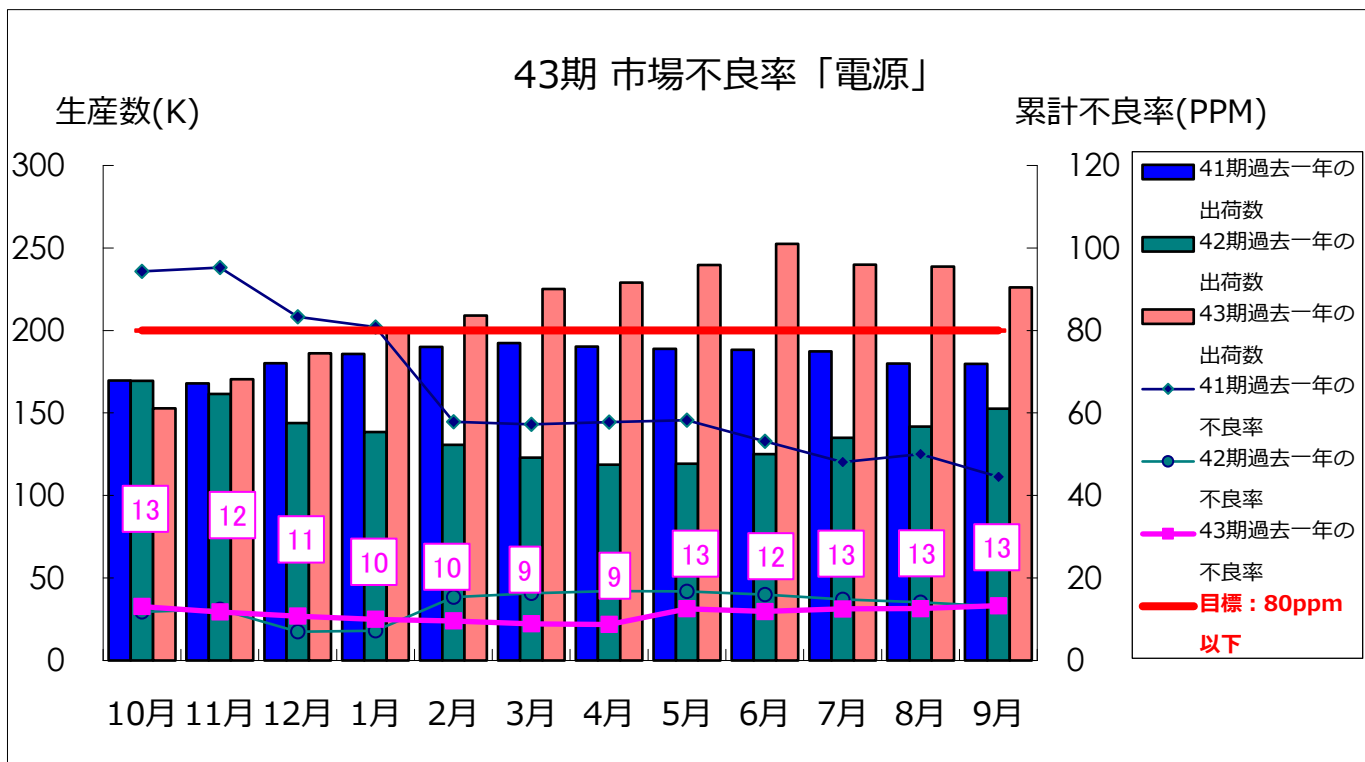
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

43期の累計不良率は、13ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ CO2削減目標を達成するために必要な努力とは？

近年では、エコカーや省エネ対応の家電など、さまざまなエコ製品が販売されています。こういった製品が増えている背景には、「産業革命以降の気温上昇を2度未満にする」という目標のために、世界各国がCO2削減に励んでいるという事実があります。これは日本のエネルギー政策にも大きく関わっており、国や個人だけでなく企業に対してもCO2削減が求められているのです。しかし、企業としては具体的にどういった取り組みをすればCO2削減を達成できるのでしょうか。各業界の事例を参考にして考えてみましょう。

□ CO2削減を目指す「パリ協定」と日本の課題

そもそも、世界各国でCO2削減に励む背景として「パリ協定」があります。パリ協定とは、2020年以降の地球温暖化の対策として、第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）の開催地パリで採択された協定のことを指します。具体的には、先進国・発展途上国を問わずすべての国が協力し、地球の気温上昇を抑えようとする、国際的な取り組みです。パリ協定では、21世紀後半には、温室効果ガスを実質ゼロにすることが目標とされており、加盟国は、5年ごとに削減目標を見直し、国連に報告することが義務付けられています。取り組みが不十分であるとみなされた場合、罰則はないものの、国際的なプレッシャーを受ける可能性があります。2017年にアメリカがパリ協定からの離脱を宣言して大きな話題になったことは、記憶に新しいかと思います。地球環境よりも自国の成長を優先したトランプ大統領の行動は、エネルギー産業や石油業界からの支持は得たものの、アメリカは中国に次いでCO2排出量が多い国だったため、目標達成を目指す世界にとっては大きな痛手となりました。一方、日本はというと、2013年に、CO2排出量の削減目標を「2020年度に、2005年度比で3.8%減」として提出しました。ただこの数値は、先進国が排出削減を義務付けられた京都議定書の基準年（1990年）と比較した場合には「京都議定書の基準年（1990年）比で3.1%増」だったのです。目標が低いどころか、むしろ1990年からの増加を肯定している、と各国から批判を浴びたため、2015年7月に再度「2030年度に、2013年度比で26%削減する」という削減目標を提出しました。原則、一度提出した目標値は引き下げることができないため、日本政府は、目標達成のために企業に対してCO2削減の努力を強く求めています。

今月のTOPICS

□ 日本の課題と「エネルギーミックス」

なぜ2013年当初、日本が低い目標値を提示したかという、東日本大震災により原発が稼働停止したため火力発電に依存せざるを得ない状況だったという背景があったからです。

日本ではCO2排出量の約4割を発電所などのエネルギー転換部門が占めているため、CO2削減目標の達成には発電方法のバランスを見直すことが重要ではありましたが、いきなり発電方法をすべてCO2が発生しない方法に変えることは実際には難しいものです。そこで注目されているのが「エネルギーミックス」です。

「エネルギーミックス」とは、火力や原子力、再生可能エネルギーなど、発電のエネルギー源をバランスよく組み合わせて電源構成を最適化するというもの。これにより、それぞれの長所・短所と、発電需給の実情を見ながら、CO2削減と電気の安定供給を進められます。たとえば火力発電は、燃料を海外からの輸入に頼る必要があるため発電コストが不安定という面があります。原子力発電は、CO2を発生させないというメリットがある反面、万が一の事故への不安から、震災以降はとくに稼働停止を求める声が強まっています。再生可能エネルギーによる発電は、CO2を発生させないといったメリットもあり注目されていますが、発電設備の設置導入コストがまだまだ高く、安定性についても保証しづらいものです。

このように、発電方法にはそれぞれメリット・デメリットがあるため、それぞれのエネルギー源をバランスよく構成していくことで、CO2の削減と、安定的な電力供給を同時に進める、というのが日本政府の方針です。

特に、当時普及が伸び悩んでいた再生可能エネルギーに関しては、より普及を促進するために、固定価格買取制度（FIT制度）が設けられました。

□ 投資価値のある企業になるためにも、環境への配慮が重要

パリ協定によって、世界各国で環境に配慮する企業活動が行われていることから、投資家のあいだでも「投資価値のある企業」の選び方に変化が生まれています。それが「ESG投資」です。

ESG投資とは、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に配慮している企業を重要視して行う投資のことで、その配慮とは、環境保護活動や地球温暖化対策などを指します。投資家のあいだではこうした環境配慮に積極的に取り組む企業が、「投資価値のある企業」として注目され始めているのです。ですから、CO2削減をはじめとする環境配慮は、パリ協定の目標達成のためだけに取り組む問題ではなく、企業の価値向上につながってきます。環境配慮を無視した経営を続けてしまえば、投資家たちの評価が得られず「投資価値の薄い企業」とみられてしまうため、長期的な観点で言えば、環境に配慮することが「企業の強み・価値」の向上となるのです。

今月のTOPICS

□ どのような活動がCO2削減につながるのか

ここまで、国としてのCO2削減の方針の話を書きましたが、では具体的にどのような企業活動が、CO2削減につながるのでしょうか？その取り組みのひとつとして、植林を行っている企業があります。植林はCO2削減に役立つだけでなく、減少している森の保全や、その木の実をエサにする動物を守ることもつながります。他にも、再生可能エネルギーの使用や省エネ対策など、さまざまな方法が挙げられます。各業界では具体的にどのような方法でCO2を削減しているのか、事例をご紹介します。

□ 各業界の取り組み事例を紹介

・太陽光発電の導入

プリンターやミシンといった機械の製造・販売を行うブラザー販売株式会社を運営するブラザーグループでは、工場に太陽光発電システムを導入することにより、CO2削減に努めています。大規模な施設のため、100%再生可能エネルギーとするのは難しいですが、工場の電力使用量のうち数%を自家発電で賄っています。また、発電設備が設けられないエリアや施設では、後述の「再生可能エネルギーにより発電された電気」を購入することで、CO2削減となるよう工夫しています。

・再生可能エネルギー由来の電気の購入・利用

株式会社エコスタイルが行っているのが、政府の指針同様、再生可能エネルギーに注目した活動です。エコスタイルでは、他の企業に向けて「クリーンな電気を提供する」というソリューションを提案しています。太陽光発電設備を設けるには初期投資費用や維持費が必要ですが、それらの資金についてはエコスタイル提携の金融機関から融資を受けることができます。そのかわり、電力購入の契約をした企業は、その発電設備から得た電気の料金を支払うことで、「再生可能エネルギー由来の電気を使っている」とみなしてもらえます。これは「PPAモデル（電力購入契約モデル）」と呼ばれ、近年注目されている導入方法です。

今月のTOPICS

・物流の見直しも重要

物流を見直すことも、CO2削減と大いに関係しています。ブラザー販売株式会社は、環境負荷の少ない物流を目指し、配送ルートや便数を随時見直し、物流の効率化を図っています。こういった試みによるCO2削減効果は、出荷重量あたり38%となり、高い成果を上げています。大口の顧客については、トラックを使わず鉄道で輸送することで、2017年には約18トンものCO2削減を行っており、物流を見直すだけでも大きく貢献できるのがわかります。

・自然保護活動への参加

自然保護活動は、持続可能な社会のために重要な活動です。先ほど挙げた植林に関しても、特に、建築業や製造業など木を材料として利用する企業にとっては、大切な活動ではないでしょうか。「積水化学グループ」は、こういった自然保護活動に力を入れており、グループ社員が地域の森で植樹をするなど、地域ぐるみの取り組みを進めています。自然豊かなエリアにある工場では、工場立地法の規定よりも大きな緑地を設けたり、ビオトープを作ったりといった工夫もしています。さらに、社員や地域の方を招いて自然学校を開き、環境保護の大切さを広めるなど、地域全体でCO2削減に努められるような取り組みが行われています。

□ 身近な取り組みからはじめてみよう

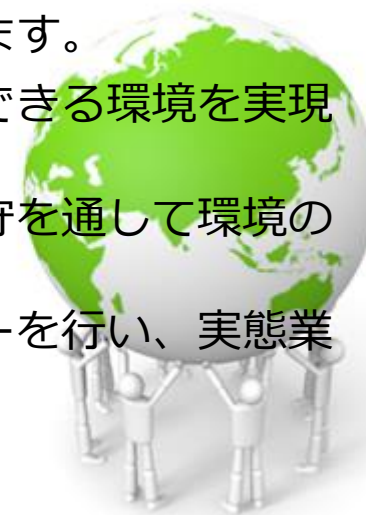
CO2削減に向けた取り組みは、企業によってさまざまです。自社が消費している材料に目を向けてみるのもひとつですし、太陽光発電のような大規模設備を導入するという方法もあります。

「CO2削減なんて自社では難しい」と感じるかもしれませんが、大規模設備が導入できる面積がなければ、再生可能エネルギーを購入するのもひとつの手ですし、規模の大きな投資が難しい場合には、省エネ対策など身近なところから始めることは可能です。出来る範囲から取り組んでいくことで、環境に配慮しながら企業の価値も向上させていけるはずです。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

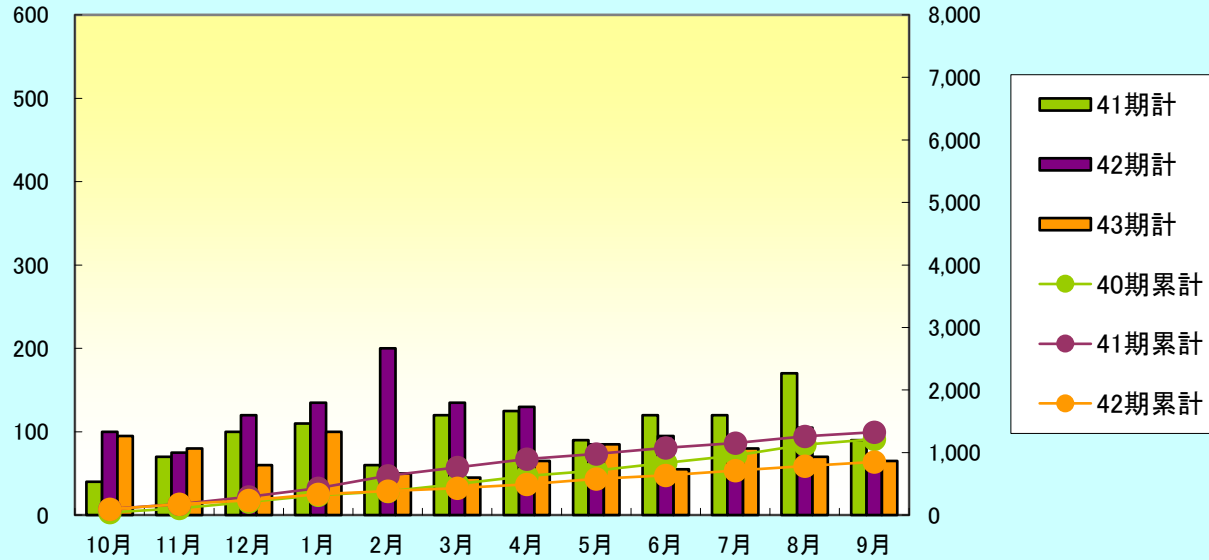
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

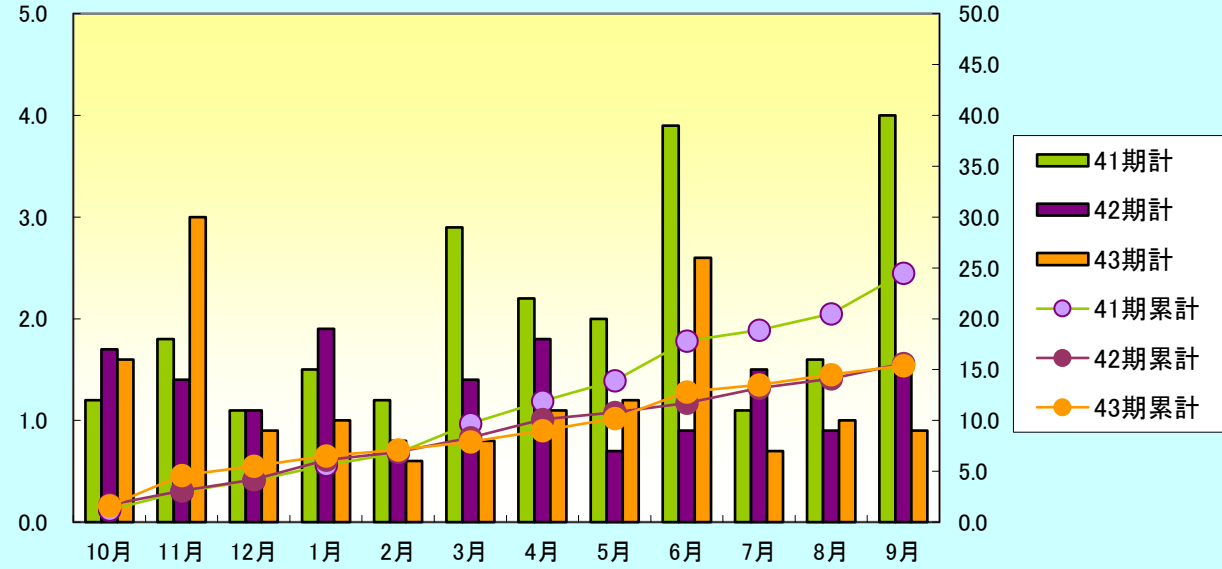
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

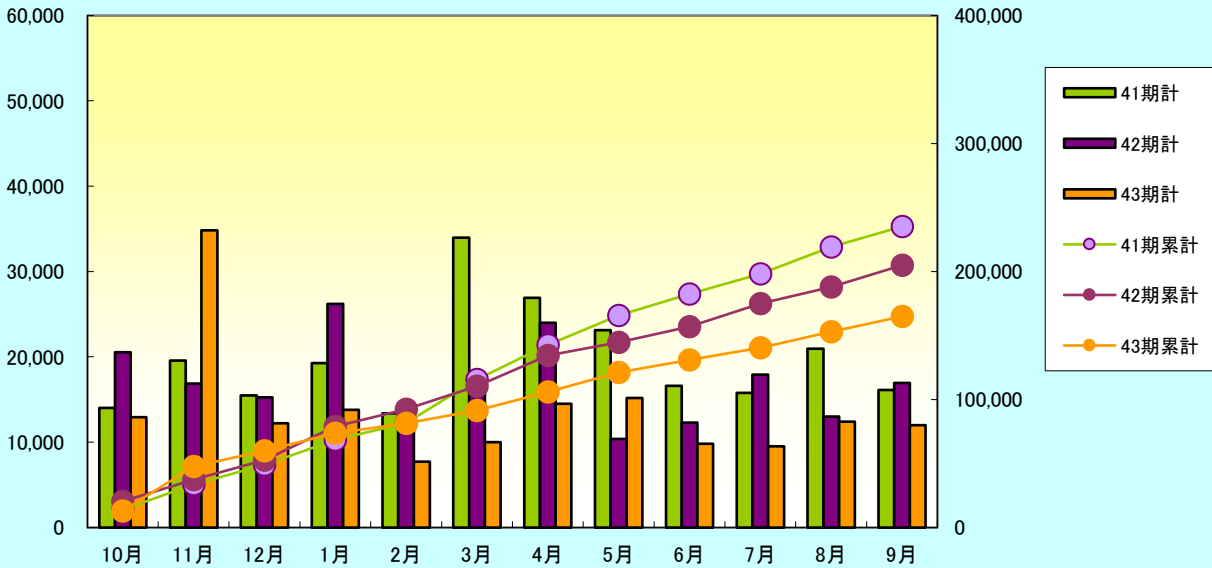
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

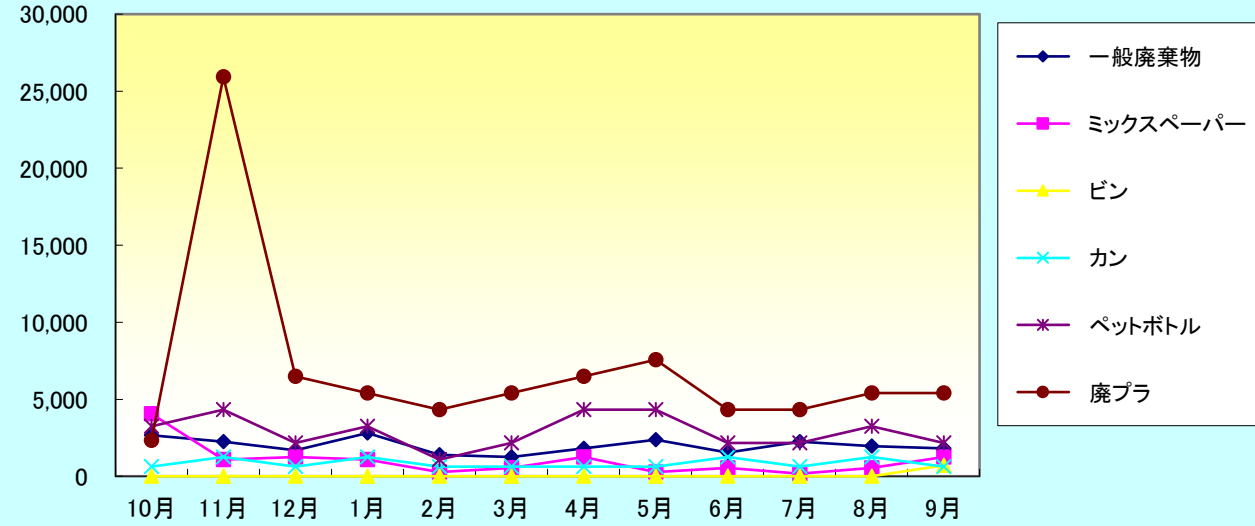
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



43期 廃棄物処理金額

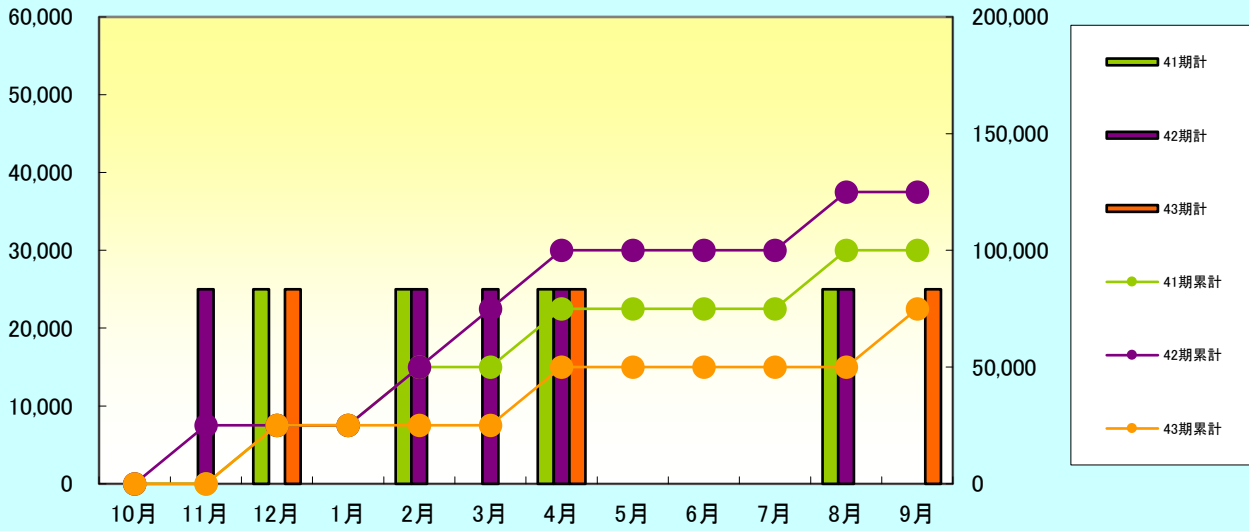
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

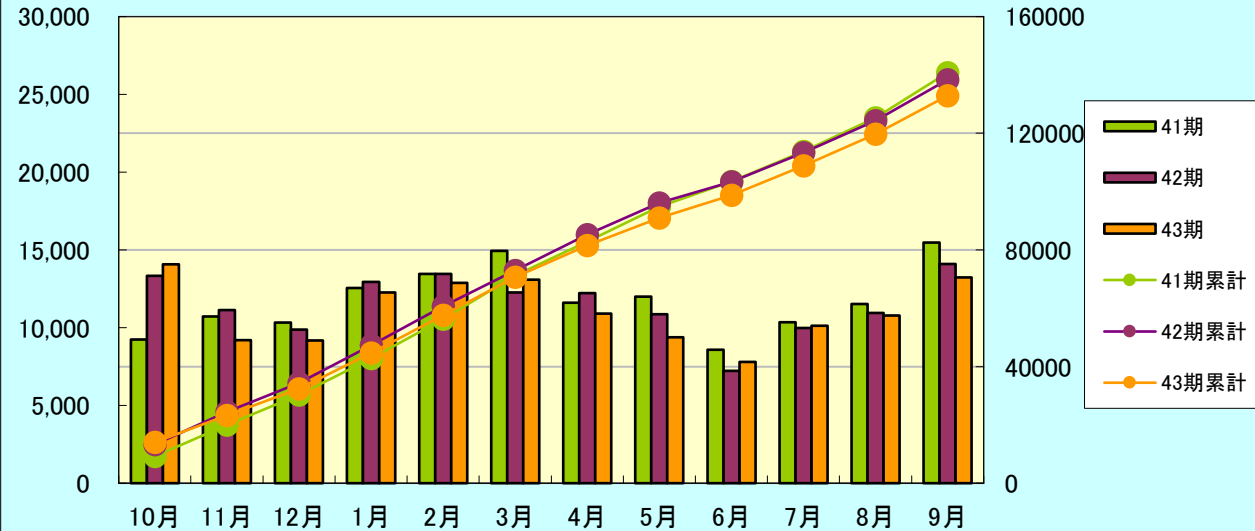
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

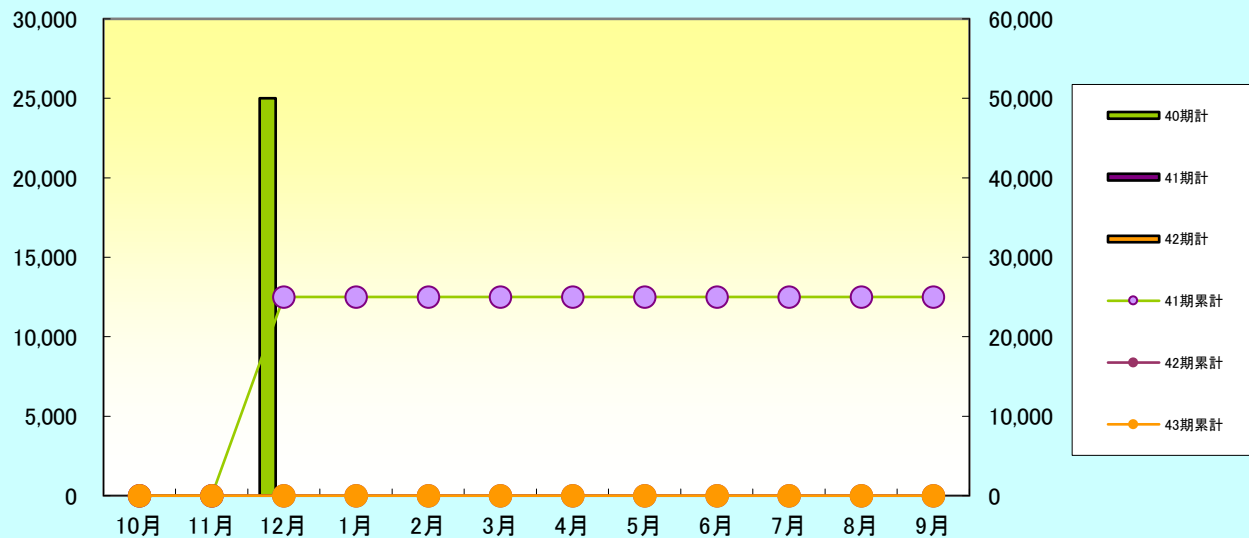
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

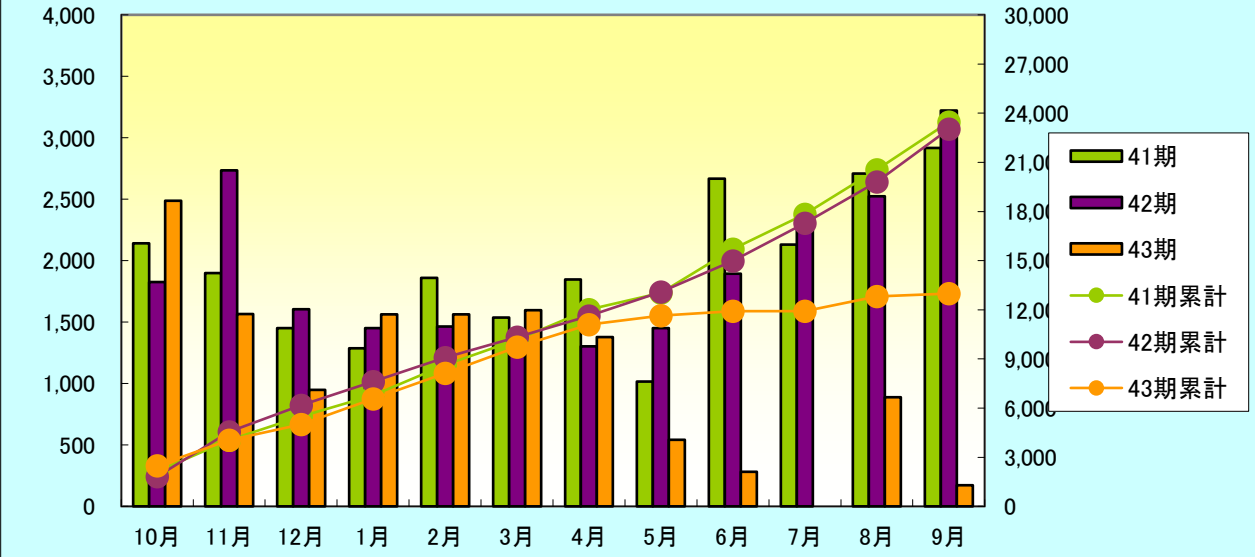
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

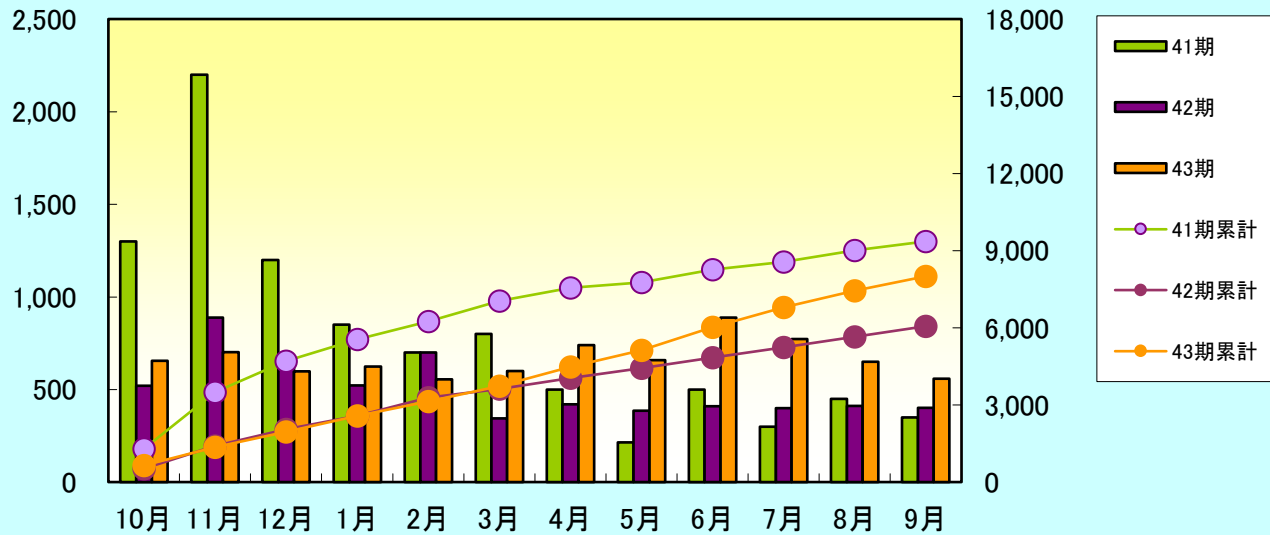
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

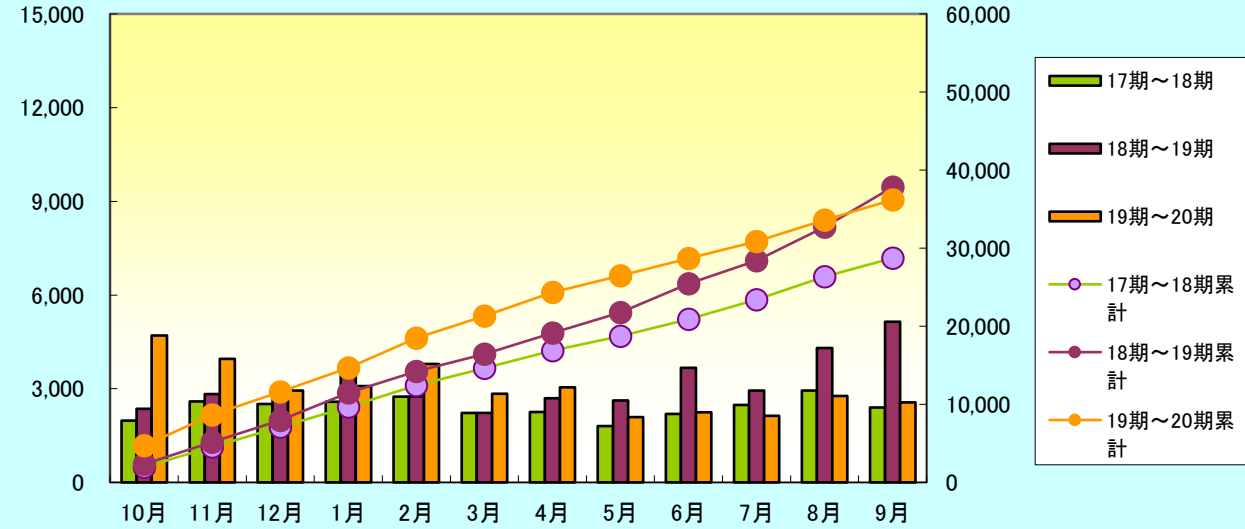
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

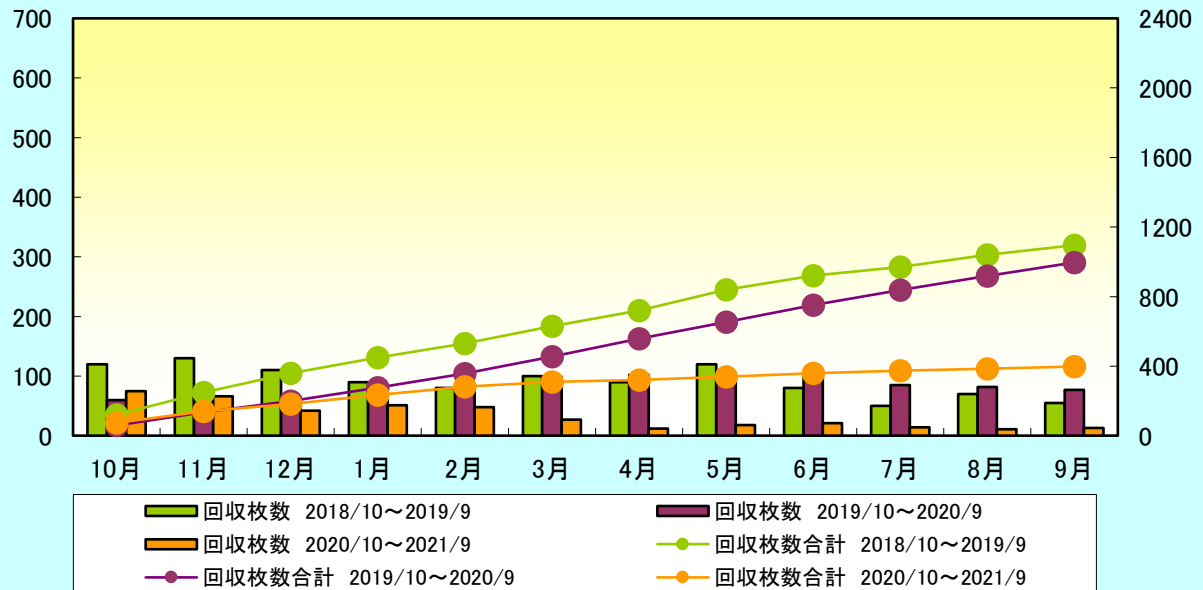
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

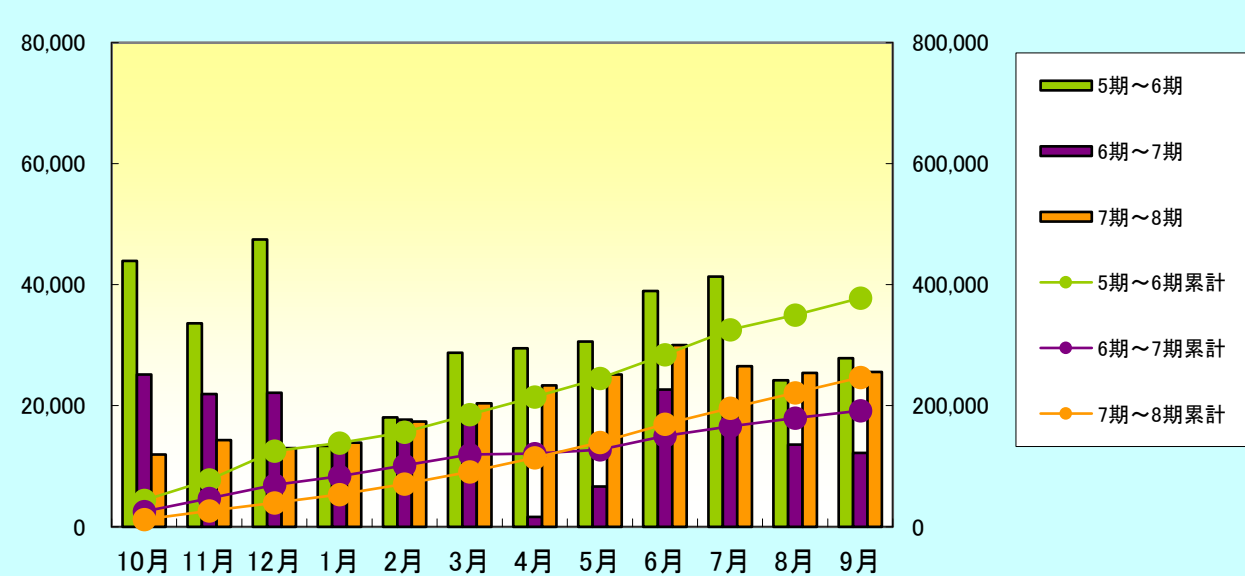
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン大学ビジネス講座「民法の基礎知識／労務管理の重要性」開講

10月5日・28日にホライズンパートナーズ法律事務所 弁護士 荒井里佳先生を講師にお迎えし、サンシン大学ビジネス講座「**民法の基礎知識／労務管理の重要性**」が行われました。

【民法の基礎知識】では、取引先とのやり取りや契約において気を付けるべきポイントを事例を用いて解説して頂きました。

【労務管理の重要性】では「なぜ労務管理が必要なのか？」
「労務管理を怠ると、どんな問題が起きるのか？」
「会社はどんなリスクを負うのか？」について解説して頂きました。

サンシングループではビジネス実務法務検定の保有者に資格手当を支給し、従業員に受講を勧めています。一人一人の法務知識を高め、法令順守を基礎としたビジネス活動で社会に貢献してまいります。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（9月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）

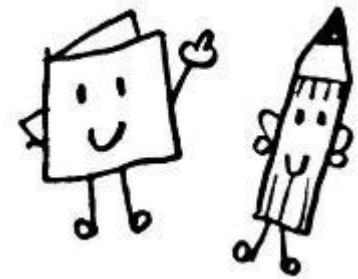


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額支給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2021年5月更新）⇒5年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2021年3月）⇒4回目の認定取得！
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ 新入社員を対象としたサンシングループ石井代表による「新人勉強会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

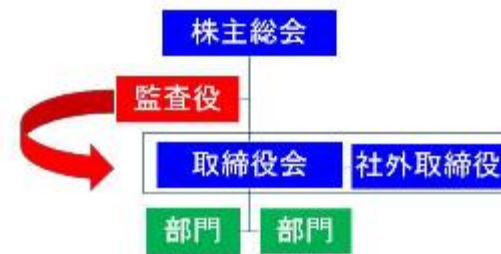
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

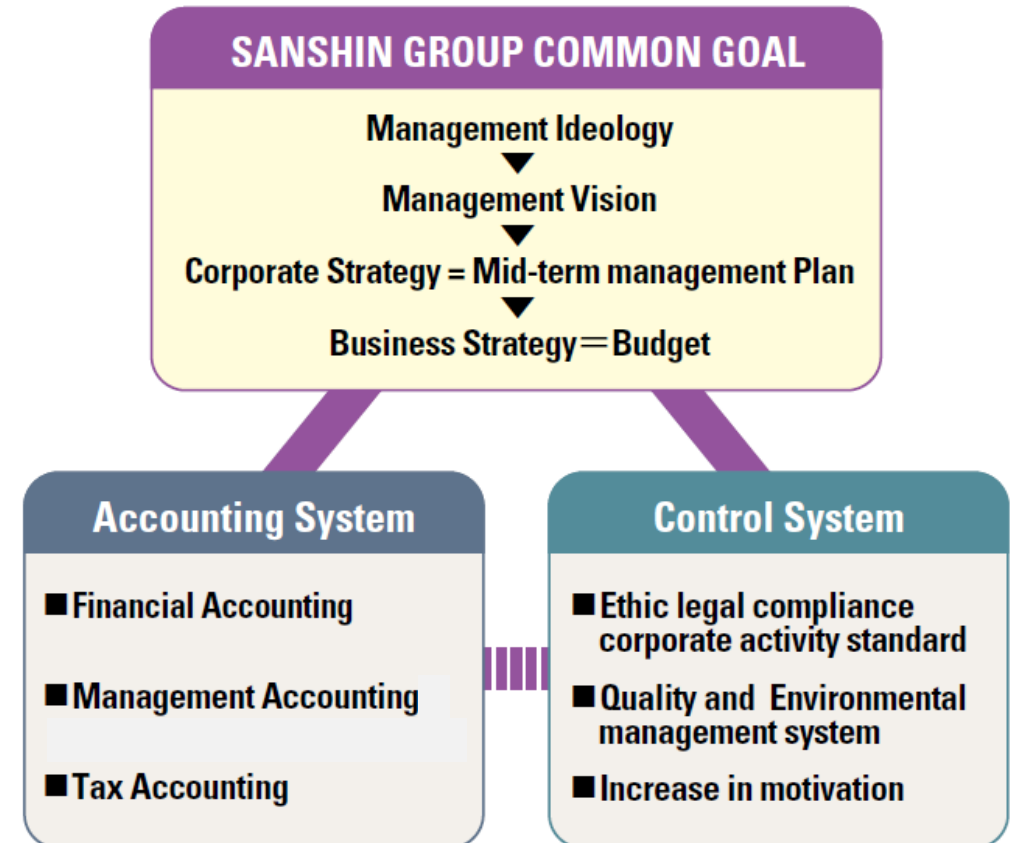
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

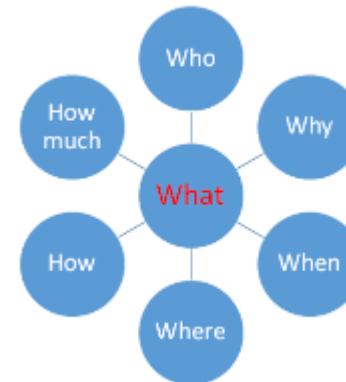
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

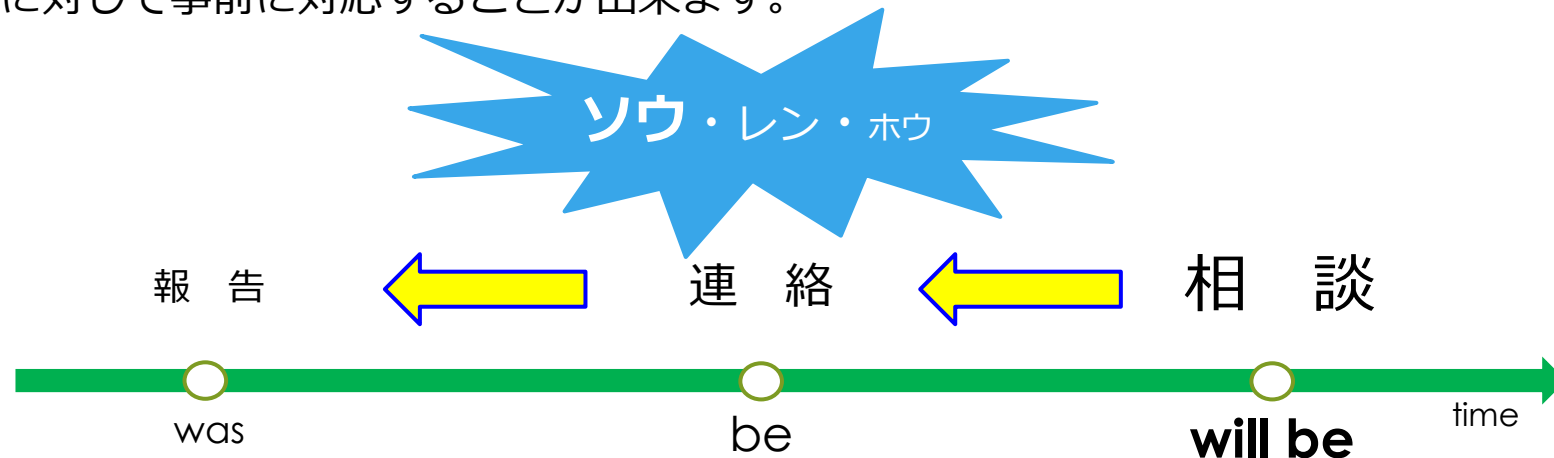


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

世界的に半導体需要が高まっています。サンシン電気でも日々納期と格闘の毎日ですが、一部では買い控えも始まっていると聞きます。市場動向に目を光らせ、無駄の無い需給に努めることも環境への配慮ではないかと感じています。